

青森からお届けします！



1メートル以上はあった園地の雪も50cm立になてきました。サラサラの真っ白だった雪も今はザラメ状に透き通り、季節の移り変わりを感じます。

りんごの木達にとって、たっぷりの雪と低温でゆっくり眠り、休めたのではと思います。

幹の温みで周りの雪は解けたし根本まで光が当たるようになってきました。

こうなるとそろそろりんごの木は眠りから覚め根から枝先へ養分が動き出します。

蕾の膨らみを見ていると少しもう春が近づいてくるのを感じます。

  雪を踏みしめて、剪定へ  

この写真、どこから撮っているのか分かりますか？雪の中りんご園に向かう途中です。

「おーい！」叫ばないと仲間には届きません！笑 普段なら車でいけるところですが、雪で車が通れないので、ひたすら歩きます。

このアングルから更にまた上に登って行きます！しかも雪上は歩きにくい。園地に到着したころには、一仕事終えたように疲れています。

しかし、園地に着いてからが本番！剪定の開始です。今日もまた待っている一本を切りに園地へ向かいます。
工藤



   春を待つりんごの木々   

2月の園地は一面70センチくらいの雪に覆われていて、たどり着くのも一苦労です。そんな雪をりんごの木達は重みに耐えながら我々の剪定を待っています。耐えきれなかった木達もいましたがよく頑張ってくれました。伸びた枝を切ってスッキリして気持ち良く春を迎えてねという気持ちで枝を切っています。
對馬



雪の中の小さな訪問者

今年も雪が多い青森。その雪により枝が折れたり幹が割れたりとりんごの木に被害がありました。雪害にあった木の状態を確認していたとき、倒れた木の中からミツバチが出てきました。



どうやら木の空洞に巣を作って越冬中だったようです。黙々と冬の剪定を進めるなかで、ほっこりする出来事でした。

このまま春を迎えてりんごの花の受粉も手伝ってもらえたらなあと思ってたのですが、数日後に見たら居なくなっちゃってました…残念 久米



青森りんご産地直送

大湯ファーム

〒036-8124青森県弘前市石川字石川64

TEL : 0172-49-7890

FAX : 0172-55-0257

メール : info@ooyufarm.com

ホームページ : http://ooyufarm.com